

令和3年度

事業実績報告書



社会福祉法人 昭和村

昭和村の理念

安全、安心　そして心豊かな生活
自由、自立　そして役割のある生活
共助、共生　そして地域と共にある生活

基本方針

- ◎ 安全、安心の生活を実現するために、施設・設備等の維持管理や点検整備等に努めると共に、行事や趣味活動などを通して心豊かな生活を提供します。
- ◎ 利用者の人権を尊重し、自由で自立した生活の実現を目指します。
身体拘束は行いません。また職員の資質の向上を図り、よりよいサービスを目指し、利用者一人ひとりがその人らしい役割のある生活を提供します。
- ◎ 地域から信頼される施設経営に努めると共に、地域との交流を図り、共に助け合い励まし合って、地域の一員として生活出来るように支援します。
- ◎ 利用者の権利を遵守します。
利用者の日常生活やケアプラン、ケアの内容などについて、正確でわかりやすい説明をします。
利用者のプライバシー（個人情報）は、保護します。

社会福祉法人 昭和村

令和3年度 社会福祉法人昭和村 事業実績報告書

【目次】

I	社会福祉法人 昭和村 本部 事業実績報告書P1
II	軽費老人ホーム 湊泉荘 事業実績報告書 P10
III	特別養護老人ホーム 市原園 事業実績報告書P18
IV	市原園デイサービスセンター 事業実績報告書P27
V	市原園在宅介護支援センター 事業実績報告書 P33
VI	市原園居宅介護支援事業所 事業実績報告書 P36
VII	昭和村売電事業 事業実績報告書 P40

I 社会福祉法人 昭和村 本部 事業実績報告書

1 施設の運営について

社会福祉法人昭和村は、地域と共に生活するという理念に基づき、適正に施設を運営し、地域の福祉施設となるように努力致しました。

令和3年度も、令和2年度同様に新型コロナウイルスの感染予防の為に、職員は施設内の掃除、消毒、また職員間の密な交流も出来るだけ避けてきた一年でした。また、利用者の皆さんにもリモート面会や行事の自粛、また外出の制限など多大なご迷惑をおかけしてしまいました。

職員のPCR検査は、国の負担で毎週一回実施することができました。

加茂地区社会福祉協議会の「ふれあい・いきいきサロン」は、新型コロナウイルス感染予防の為利用されませんでした。が、「よろず相談所」の看板を掲げ地域の皆さんのから頼られる施設を目指しました。

通所介護、訪問介護、ケアプランの作成などは、地域から高い評価を得ております。

今後とも、新型コロナウイルスの感染予防に最大限の予防をしつつ、各施設、事業所の適正な運営管理と入居者、利用者の意思を尊重し、サービスの向上を図り、地域との交流などに努め地域福祉の拠点となるよう積極的に努めます。

(1) 軽費老人ホーム 溪泉荘

入居者の要望や身体状況を把握し、生きがい対策など入居者の日常生活の支援を行いました。

特に、入居者の半数以上の方が要支援・要介護状態となっている現状から、本人、家族、介護支援専門員との話し合いのもと、効果的に介護保険サービスを利用しました。

新型コロナウイルス感染予防の為サークル活動や外出行事は、ほとんど休止致しました。又、誕生会も今まで通りの食事を兼ねるスタイルから式典のみを行う方式に変更致しました。

健康管理や感染症予防の為に、入居者の手洗い指導、一日2回の体温測定、施設内の清掃作業など、全職員一丸となって取り組みました。



(2) 特別養護老人ホーム 市原園

「全室個室・ユニットケア」の特徴を活かし、入居者のプライバシーに配慮したケアに努め、認知症の方への精神的安定や自立した生活が出来るように、入居者の介護に努めました。

特に各ユニットでは、入居者の日常生活の支援に重点を置いた施設サービス計画を作成し、可能な限り一人ひとりと向き合い、残存機能の維持向上を図りつつ、その人らしい生活をサポートしました。



(3) 市原園 デイサービスセンター

通所介護は、利用者の有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことが出来るように支援しました。

又、独居や高齢利用者も多い事から、新型コロナウイルス感染予防に最大限の注意を払いながら、外出ドライブや出前食の企画、クッキング教室、園芸教室を実施いたしました。



2回の地域推進会議は、いずれも書面において実施致しました。

(4) 市原園在宅介護支援センター

訪問介護は、11名の訪問介護員が居宅を訪問して、入浴、排泄、食事等の身体介護、家事、炊事等の日常生活上の介護を行いました。

活動場所は、加茂・南総地区をはじめ、大多喜町、君津市となっています。



(5) 市原園居宅介護支援事業所

利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営む事が出来る様に、総合的な相談に積極的に応じました。

経験豊富なケアマネ4名が、一人一人に合ったケアプランを丁寧に作成しました。ケアプラン作成件数は、月平均182件でした。



(6) 昭和村売電事業

平成29年10月から溪泉荘の屋根に太陽光パネルを設置し、売電事業を行いました。積雪等ありましたが、建設時の予想発電量を上回る発電があり、東京電力パワーグリッドに売電することが出来ました。

2 事業実施状況

今年度は、新型コロナウイルス感染予防の為、予定していた行事はほとんどできませんでした。

4/ 1 13 22～28	辞令交付(人事異動、定期昇給) 施設長・管理者会議 第2回評議員選任解任委員会 全館床掃除
5/11～13 13 18 20	利用者・職員健康診断(市原健康クリニック) 施設長・管理者会議 エレベーター点検 井戸電磁弁交換(辻本電気)

6/ 2	高圧電気設備点検(日本テクノ)
3	監事監査
	エレベーター点検
4	グリストラップ掃除
5	コロナワクチン第1回目第一班接種(市原園入居者46名・職員他20名)
8	第214回理事会
9	防災設備点検(まいにち防災)
12	コロナワクチン第1回目第二班接種(溪泉荘入居者88名・職員他20名)
18	防災訓練・防災設備勉強会(新人職員対象・緊急連絡網)
21	草取り
22	第152回評議員会・第153回評議員会・第215回理事会
26	コロナワクチン第2回目第一班接種(市原園入居者45名・職員12名)
28	害虫駆除(環境コントロール)
7/ 3	コロナワクチン第2回目第二班接種(溪泉荘入居者90名・職員16名)
6	浄化槽法定検査(浄化槽検査センター)
13	施設長・管理者会議
13~24	職員面談
17	コロナワクチン第2回目第三班接種(職員12名)
8/ 2	千葉県に緊急事態宣言発令
17	エレベーター点検
25	厨房床掃除(夜間・職員実施)
	コピー機入替
9/ 22	水質検査(薬剤師会検査センター)
24	自動ドア点検
27	第216回理事会(書面決議)
10/ 12	施設長・管理者会議、厨房床配管掃除(タイガー総業)
14	グリストラップ掃除
20	全停電検査(日本テクノ)
26	衆議院議員不在者投票(溪泉荘90名・市原園36名)
27	害虫駆除(環境コントロール)・水質検査(薬剤師会検査センター)
30	インフルエンザ予防接種(入居者・職員)
11/ 2	エレベーター点検
8	自動ドア修理(千葉寺岡)
9	施設長・管理者会議、エレベーター点検
12/ 6	高圧電気点検(日本テクノ)
8	防災訓練・防災設備点検
15	厨房冷蔵庫保守点検
19	厨房冷蔵庫ベルト交換(スワダ電器)
21	厨房床掃除
23	第217回理事会・エレベーター点検
31	厨房ダクト工事(スワダ電器)給気排気ベルト交換

1 / 11	施設長・管理者会議
13	ヤックス移動販売開始(毎週木曜日)
18	ガス機器メンテナンス(大多喜ガス)
19	千葉県職員設置費、サービス提供費調査(溪泉荘H29~R2年分)
25	厨房換気扇モーター交換
26	厨房洗浄機修理(マルゼン)
	厨房ダクト工事(ベルト交換)
2/ 1	厨房換気扇工事
4	市原園汚物洗濯機モーターホース交換(エレクトラックス)
5	コロナワクチン第3回目第一班接種(入居者58名・職員20名)
8	エレベーター点検
10	害虫駆除(環境コントロール)
15	施設長・管理者会議
19	コロナワクチン第3回目第2班接種(入居者57名・職員21名)
23	井戸点検(ろ過砂交換・圧力メーター交換、神鋼)
3/ 2	自家発電天盤修理(まいにち防災)
8	自動ドア点検(千葉寺岡)
12	コロナワクチン第3回目第3班接種(入居者31名・職員20名)
16	ヘルパーステーション電話工事
29	第218回理事会
30	防災訓練(夜間対応)・受水槽掃除

3 理事会の開催状況

第214回 令和3年6月8日	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度事業実績報告について 令和2年度計算書類及び財産目録の承認について(令和2年度監事監査の結果について) 評議員会の日時及び場所並びに議題・議案の決定について 市原園運営規程の一部変更について 令和3年3月から4月の活動状況の報告
第215回 令和3年6月22日	<ul style="list-style-type: none"> 理事長の選定について 新評議員選任解任委員の選任について マイクロバスの購入について
第216回 令和3年9月27日 (コロナウイルス感染予防の為 書面議決)	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度第一次補正予算について 軽費老人ホーム溪泉荘運営規程の改正について 令和3年5月から8月の活動状況について
第217回 令和3年12月23日	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度第二次補正予算について 令和3年9月から11月の活動状況について
第218回 令和4年3月29日	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度第三次補正予算について 市原園居宅介護支援事業所新管理者の選任について 給与規程の一部改正について 令和4年度事業計画案について 令和4年度予算案について 令和3年12月から令和4年2月の活動状況について

では、利用者間の感染予防に様々な角度から協議し、職員又利用者に協力をいただきました。利用者の皆様には、面会規制また外出制限とご迷惑をおかけしましたが、一名の感染者も出すことなく過ごせました。また、手洗い・マスク装着の効果もあり、インフルエンザの発症者も一人もおりませんでした。

コロナウイルスワクチンは、嘱託医の市原健康クリニックの小椋医師が施設で実施して下さいました。

(4) 環境・営繕・車両委員会

施設の電気、ガス、水道、空調、浄化槽、防災機器など、各種の機械や設備が良好な状態で使用出来るように、職員で出来る範囲のメンテナンスを行いました。

エレベーターや火災報知器、専用水道浄水装置、水道設備貯水槽の清掃、下水浄化槽の保守点検などの法定点検については、専門業者に連絡して法律を遵守するよう点検整備を実施しました。

環境美化の為に施設進入路入口付近や施設敷地内の草取り作業、清掃活動、花の植え付けなど全職員の協力を得て実施しました。

また、安全運転に対する自覚を喚起する為に乗車前の身体状況点検、車輛点検など実施しました。公用車の運転日誌の整備、定期点検を実施しました。

今年度も、(社)千葉県安全運転管理協会主催の「セーフティードライバーズちば2021」に1チーム10名が参加し、安全運転の呼び掛け運動などを定期的実施致しました。期間中無事故・無違反を達成することが出来、安全運転への意識が高まりました。

9 合同防災訓練

【防災避難訓練の実施状況】

訓練日時	訓練内容	参加者
R3年6月18日 PM3:00～3:30 PM7:30～	火災や災害を想定し、新人職員を対象として防災設備の確認と操作方法の勉強会を実施した。 職員緊急連絡網を使用した通報訓練を実施した	入居者 0名 職員 22名 職員 69名
R3年12月8日 PM2:30～3:30	夜間を想定訓練として実施。B棟一階洗濯室から火災発生。初期消火失敗したため避難誘導指示。自宅にいる職員にも召集がかかり随時駆けつけ、宿直者の指示に従い避難誘導・点呼確認に入る。 終了後、宿直を行う職員に対し、防災設備の点検会社に防災監視盤、防災設備の説明をしてもらった。	入居者 0名 職員 22名
R4年3月30日 PM2:00～3:30	新型コロナウイルス感染予防の為、火災や災害発生を想定した全体訓練は行わず、棟と階毎に食堂に集ってもらい自分の居室付近から火災が発生した場合の避難場所、避難経路等現地で丁寧に確認し、有事の際冷静に行動できるようイメージ訓練を実施した。	入居者 80名 職員 22名

10 設備等の修繕・工事の内容 (10万円以上の工事・各施設にて按分負担)

修繕・工事名	井戸電磁弁工事
--------	---------

年 月 日	令和3年5月31日
業 者 名	稲毛さく井工業
内 容	電磁弁取替工事
金 額(税込)	159,000円
修繕・工事名	防災設備修繕
年 月 日	令和3年8月31日
業 者 名	MK サービス
内 容	ガス漏れ検知器・熱感知器交換
金 額(税込)	127,600円
修繕・工事名	厨房洗浄機修理
年 月 日	令和3年12月31日
業 者 名	マルゼン
内 容	洗浄機修理
金 額(税込)	118,635円
修繕・工事名	自動ドア修繕
年 月 日	令和4年1月31日
業 者 名	千葉寺岡
内 容	正面玄関自動ドア装置交換修繕
金 額(税込)	308,000円

11 器具及び備品・固定資産の購入内容（10万円以上の購入代金・各施設にて按分負担）

該当なし

令和3年度

事業実績報告書



(令和3年9月17日：敬老会にて)

軽費老人ホーム 溪泉荘

Ⅱ 軽費老人ホーム 溪泉荘 事業実績報告書

1 施設の運営管理について

(1)はじめに

軽費老人ホーム溪泉荘は、令和3年度事業計画に基づき、施設の適正な運営管理に努めました。

- ・高齢社会に対応する施設として、サービスの向上に努め、入居者・職員の信頼関係の確立を図りました。
- ・入居者の自主性・積極性を尊重し、生きがいのある生活が送れるよう支援しました。
- ・防災意識の向上を図り、安全管理体制の強化に努めました。



(コロナワクチン接種の様子)

- ・地域との交流を積極的に図り、施設が地域福祉の核となるよう努めました。
- ・新型コロナウイルスの感染予防に取り組みました。

新型コロナウイルスの感染予防対策は、下記のとおりです。

- ① 利用者及び職員の手洗い、うがい・マスク着用の徹底
- ② 利用者、職員の日2回の体温チェック
- ③ 利用者の外出制限（通院、買い物便の制限）
- ④ 面会制限（状況を見て、禁止からPCそして、玄関での面会へ移行）
- ⑤ 食堂の間仕切りの設置
- ⑥ 食事の前に放送をし、居室から早く出て廊下で会話しない様喚起
- ⑦ 食堂に集まっのラジオ体操を中止し、各居室での体操の声掛け
- ⑧ 誕生会は、その月の誕生者のみ大ホールに集まり式典を実施
- ⑨ 毎日の手すり掃除
- ⑩ 食事後の間仕切りの掃除
- ⑪ 食堂の空間除菌脱臭装置の設置（3台）
- ⑫ 面接は、居室等への立ち入りはせず、写真にて説明
- ⑬ 新規入所者・退院者は、数日間の自室待機

(2)職員配置の状況

軽費老人ホーム溪泉荘は、入居者の虚弱化・高齢化に対応する為、国の基準より多く職員を配置しました。又、調理業務は株式会社 西原屋に委託しました。

	施設長	生活相 談員	介護 員	主任 介護 職員	看護 員	栄養 士	事務 員	医師	その他	調理 員	合計
基準	1	1	4	1	1	1	2	必要な数		実情	11名
県単		1			1						2名
現員	1	2	5(1)	1	2	1	2	(1)		委託	14(2)名

()は非常勤 (令和4年4月1日現在)

(3)防災訓練の状況

昭和村消防計画に基づき、防災避難訓練を通じて、建物や消防用設備等の点検に努めました。

今年度は、新型コロナウイルス感染予防の為、利用者の避難誘導訓練は、実施しませんでした。有事の際の動きを再確認する訓練を実施しました。

夜間を想定した訓練は、火災防衛・救急・救助技術の向上を図り、防火管理体制を強化しました。



2 入居者処遇について

(1)月別入退所者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
初日	100	100	100	100	100	100	
入居	3	1	3	8	0	1	
退居	4	0	5	6	0	3	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	99	100	100	100	100	100	1,199名
	5	0	2	2	1	1	26名
	3	0	2	2	1	0	26名

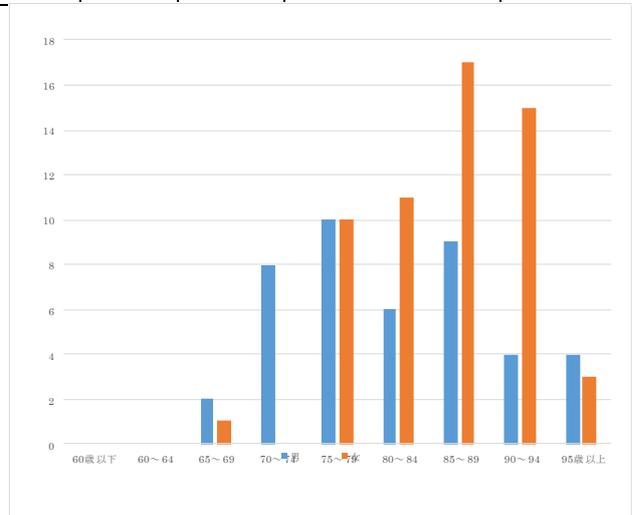
(2) 年齢別入居者数(令和4年3月31日現在)

年齢区分	男	女	合計
60歳以下	0	0	0
60～64	0	0	0
65～69	2	1	3
70～74	8	0	8
75～79	10	10	20
80～84	6	11	17
85～89	9	17	26
90～94	4	15	19
95歳以上	4	3	7
合計	43	57	100名
平均	83.2	85.9	84.6歳

最高齢 100 歳女性

(3) 日常生活の状況(令和4年3月31日現在)

歩行	自立歩行		排泄	便所	自分で可能			
	歩行補助器	車イス使用			自分で可能	車イス使用		
歩行	歩行補助器	46名	排泄	昼間	便所	自分で可能	96名	
	車イス使用	4名				車イス使用	4名	
	歩行不能	0名			ポータブル	自分で可能	0名	
						介助	0名	
食事	自分で可能	31名		排泄	夜間	便所	自分で可能	96名
	一部介助、寮母配膳	69名					車イス使用	4名
	全部	0名				ポータブル	自分で可能	0名
入浴	自分で可能	45名					介助	0名
入浴	一部介助、ヘルパー	55名						



	全部	0名			おむつ、パット使用	37名
着衣	自分で可能	68名	※おむつ、パット使用者でも自分で交換可能な方は、排泄自立にもカウントしている為合計が合いません。			
	一部介助・全部介助	32名				
	全部	0名				

(4) 処遇方針について

入居者の身体状況を把握し、ニーズに合わせた支援を実施しました。

又、高齢化、虚弱化により個別的なサービスが必要となった入居者には、本人又は保証人と協議の上、介護保険サービスを効率的に利用しました。

サービスの利用に当たっては、残存機能の維持や認知症の予防に主眼を置き、介護支援専門員と密な連絡を取り、サービス開始後も適宜見直し、より良い生活が送れるよう支援しました。

又、溪泉荘の生活が困難になった入居者については、本人、保証人、主治医等との協議の上、最善の場を提供出来るようにしました。

(5) 教養娯楽について

今年度は、新型コロナウイルス感染予防の為、多くの行事を実施することができませんでした。毎朝食堂で行われていたラジオ体操は、マンネリ化を防ぐためご当地版バージョンを流し、各自居室で行っていただきました。

誕生会は、密を避けるため午前中に誕生者のみ大ホールで式典を実施し、昼食時は全員に旬の食材を使った四季折々のお祝膳を堪能していただきました。

4/16	誕生会	   
5/21	誕生会	
6/15	満100歳お祝	
18	誕生会	
7/16	誕生会	
26	ゴキブリ駆除	
8/20	誕生会	
9/17	誕生会・敬老会（米寿）	
10/15	誕生会	
26	不在者投票（衆議院議員選挙）	
30	インフルエンザ予防接種	
11/19	誕生会	
25	紅葉狩り（亀山湖）	
12/ 1	紅葉狩り（亀山湖）	
8	防災訓練（夜間想定）	
15	誕生会・イルミネーション見学（月崎・飯給・里見駅、クオードの森）	
22	イルミネーション見学（月崎・飯給・里見駅、クオードの森）	
1/21	誕生会	
2/14	バレンタインデー	
3/14	誕生会	
17	ホワイトデー	
18	千葉県知事選挙不在者投票	
30	誕生会 防災訓練	

(6) 食事について

食事の充実健康維持に欠かせず、生活の充実でもあるとして、入居者に喜ばれる食事作りをしました。

調理形態についても、入居者の身体状況を考慮し、普通食、キザミ食、超キザミ食を用意すると共に、減塩食などの治療食にも対応しました。

バイキング食も自分で取れない入居者が年々増加し、今では半分以上の入居者が何らかの介助が必要になりました。

新型コロナウイルスの感染予防の為、空気清浄機の設置、入居者のテーブルには間仕切り・湯飲み茶わんの変更また食事前の放送などできる限りの感染症対策を行いました。又バイキング食は、個別盛りのお皿を自分で取る方式にしました。

外出や入院等で一日（3食）食さない入居者に、食材料費相当分として1日800円を返金しました。



	朝 食	昼 食	夕 食
食事時間	7:30～8:30	12:00～13:00	17:30～18:30

(7)入浴について

入浴日は週4日とし、入居者が快適に生活出来るようにしました。

又、介護保険を利用したヘルパー介助の個浴、リフト浴の利用者も年々増加し、最近では入所時からヘルパー入浴を利用する方もおりました。

区 分	入浴回数	入浴時間	ヘルパーによる入浴介助者	
一般浴槽	週 4 日	14:00～20:00	個浴 19名	リフト浴 5名

3 給食管理について

(1)食事について

入居者の給食は、年齢、性別、生活活動強度により栄養所要量を決定し、栄養が確保できるようにしました。又、嗜好調査、残菜調査、食事後の聞き取り調査を通し、入居者の生の声を聞き、献立や味付けに反映させました。又、顧客満足度アンケートを実施し、味付けや料理の品数またどのようなものが食べたいか調査を致しました。満足・まあまあ満足の方は78人中72人なり、大半の方に満足していただいていることがうかがえました。入居者の身体状況に応じ、調理の形態を変えると共に、配膳の介助、代替食の用意などの便宜を図りました。今後も入居者に喜んで頂ける食事を提供できるようにします。

(2)栄養所要量について(令和4年3月31日現在)

	熱 量 Kcal	蛋白質 g	脂質 g	Ca mg	鉄 mg	レチノール当 μg	VitB1 mg	VitB2 mg	VitC mg
平均	1,510	62.1	44.6	750	7.5	850	1.1	1.2	100

(3)令和3年度 栄養摂取量(1人1日当たり)

	熱 量 Kcal	蛋白質 g	脂質 G	Ca mg	鉄 mg	レチノール当 μg	VitB1 mg	VitB2 mg	VitC mg
平均	1,577	67.4	44.0	828	10.7	844	0.85	0.98	84

(4)調理形態別の食事の状況(令和4年3月31日現在)

主食	ご飯	67名	お粥	33名	
副食	普通	79名	キザミ	16名	超キザミ 5名

4 健康管理について

(1)保健計画について

病気の早期発見、早期治療の為に、週2回職員が同行し、加茂診療所へ通院しました。

嘱託医による診療は、週1回医務室において実施しました。協力病院のポプラクリニックへもスムーズな通院、入院体制を確立しました。

又、認知症の予防、進行防止、残存機能維持の為に、デイケア、デイサービスも積極的に利用しました。

感染症予防の為に、手洗い、うがい、マスクの着用には万全を期しました。退院時また入所時には数日間の居室対応をするなど、コロナウイルスが施設に入らない対策を取りました。

コロナワクチンにつきましては、嘱託医が3回とも施設で接種し一人の感染者も出さずに済みました。



【デイサービス等の利用状況(R4.3.31 現在)】 月間延べ回数

デイサービス	8ヶ所	268回
デイケア	2ヶ所	44回

(2)入居者の健康診断について

年2回の健康診断が義務付けられており、1回目は市原健康クリニックの移動検診車で、胸部レントゲン検査、心電図検査、血液検査、診察など実施しました。

又、2回目の健康診断は、嘱託医の問診を施設内で実施しました。

(3)職員の健康診断について

全職員の健康診断は、市原健康クリニックの移動検診車で実施しました。

更に希望者は、社会保険指定病院の生活習慣病予防検診を受診できるように便宜を図りました。



5 給食サービスの状況

毎年、加茂地区社会福祉協議会の主催する「ふれあい・いきいきサロン」の会場として利用して頂いておりましたが、新型コロナウイルス感染予防の為、一度も開催されませんでした。

6 職員研修実績

(1) 内部研修

新型コロナウイルス感染予防の為、多職種との職員交流を最低限度といたしました。その為、全職員が一堂に会しての研修はできませんでしたが、オンライン研修を実施しました。

日付	研修内容	講師	参加者職種	参加人数
R3. 5月31日	新入社員の心得について	施設長 泉 哲也 事務長 泉水 陽子	介護職員	3名
R3. 11月24日	新型コロナウイルスについて	養護・ケアハウス軽費部会オンライン研修	施設長他	15名

(2) 外部研修

新型コロナウイルスの感染予防の為、千葉県、千葉県社会福祉協議会また市原市の研修はほとんどありませんでした。

日付	研修名	内容	参加者職種人数
R3. 10月5日	雇用管理責任研修	介護労働における義務と職場秩序の保持 介護労働者の賃金管理	施設長 1名
R3. 11月17日	養護・ケアハウス軽費部会オンライン研修 (ZOOM)	新型コロナウイルスについて	生活相談員 1名

R3. 12月9日	雇用管理責任研修	能力開発とキャリア形成支援 人材の確保・定着のための業務効率化とコミュニケーション	施設長 1名
R4. 2月7日	社会福祉法人会計実務者決算講座(ZOOM)	正しい会計処理、決算実務のポイント	事務員 2名

7 設備等の修繕・工事の内容 (10万円以上の工事)

修繕・工事名	車輛(プロボックス)修理
年 月 日	令和4年2月28日
業 者 名	小茶自動車
内 容	ブレーキ修理・塗装一式
金 額(税込)	191,000円

8 器具及び備品・固定資産の購入内容 (10万円以上の購入代金)

購入品名	マイクロバス1台
年 月 日	令和4年7月1日
業 者 名	株式会社カクタ
内 容	マイクロバス入替
金 額(税込)	4,000,000円

令和3年度

事業実績報告書



(さくら・つつじユニット納涼祭の様子 令和3年8月24日)

特別養護老人ホーム 市原園

Ⅲ 特別養護老人ホーム 市原園 事業実績報告書 ユニット型指定介護老人福祉施設

1 施設の運営管理について

(1) はじめに

新型コロナウイルス感染症対策として

- ① PC を利用しての面会(リモート面会は事前予約)
- ② 短期入所者の利用方法を変更。(単発利用は停止。ロングショート利用は可。)
- ③ 定例会議に参加する人数を制限。
- ④ 通院後の自室待機日数を緩和。(昨年度 3 日間、現在 1 日)
- ⑤ 退院後に抗原検査の実施。



(敷地内にある河津桜見学)

特別養護老人ホーム市原園は、令和 3 年度事業計画に基づき、施設の適正な運営管理に努めました。

今年度も、新型コロナウイルス・オミクロン株の流行で入居者・ご家族の方には、外部との交流自粛やリモート面会の協力を経て、感染症対策強化を行いました。

・入居者一人ひとりの意思及び人格を尊重し、施設サービス計画に基づき、可能な限り居宅における生活への復帰を念頭に置いて、入居前の生活と入居後の生活が連続したものとなるように配慮しながら介護しました。

・各ユニットにおいて入居者が相互に社会的関係を築き、自立的な日常生活を営むことを支援しました。

(2) 職員配置の状況

介護・看護職員は 2 対 1 の介護体制で、質の高いサービスに努めました。

施設長	事務員	員 生活相談	介護 支援 専門 員	機能 訓練 指導 員	看護 職員	介護 職員	栄養 士	嘱託 医	調理 員	合計
1	1	1	1	兼	2	20(3)	1	(1)	委託	27(4)名

()は非常勤 (令和 4 年 4 月 1 日現在)

(3) 防災訓練の状況

防災関係については、昭和村消防計画書に基づき、火災や地震、放水訓練、避難救助訓練、通報連絡訓練、夜間を想定した訓練など、いろいろな災害を想定して防災避難訓練を年 3 回実施しました。

2 利用者処遇について

(1) 月別入退所者の状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
初 日	50	50	50	50	50	50	
入 所	2	2	1	3	1	0	
退 所	2	2	1	3	1	0	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	50	50	50	50	50	50	600名

	2	1	1	2	1	2	18名
	2	1	1				

(2) 年齢別入居者数(令和4年3月31日現在)

年齢区分	男	女	合計
60～64	0	0	0
65～69	1	0	1
70～74	0	1	1
75～79	1	2	3
80～84	1	2	3
85～89	5	11	16
90～94	1	14	15
95歳以上	2	9	11
合計	12名	38名	50名
平均年齢	86.1	90.0	88.1歳

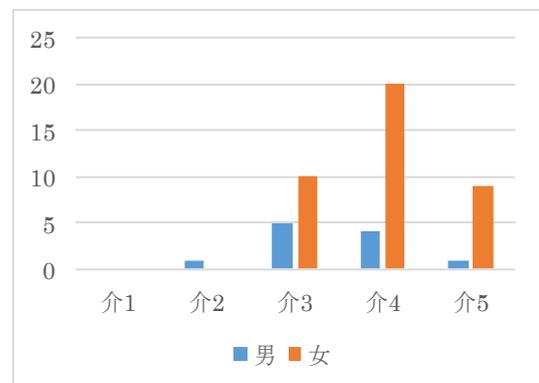
(3) 日常生活の状況(令和4年3月31日現在)

歩行	歩行(介助含む)	9	排泄	昼間	トイレ	自立	3
	車イス自走	25			要介助	21	
	車イス全介助	16			ポータブル	自立	4
	離床不能(短時間なら可)	0				要介助	2
食事	自分で可能	42		おむつ使用		19	
	一部介助	3		夜間	トイレ	自立	2
	全部介助	5			要介助	8	
入浴	自分で可能	0			ポータブル	自立	4
	一部介助	28				要介助	3
	全部介助	22		おむつ使用		30	
着衣	自分で可能	1					
	一部介助	27					
	全部介助	22					

(4) 入居者の介護度の状況

(令和4年3月31日現在)

	介1	介2	介3	介4	介5	計	平均
男	0	1	5	4	1	11	3.45
女	0	0	10	20	9	39	3.97
計	0	1	15	24	10	50	3.86



(5) 施設サービス計画及びサービス内容について

介護支援専門員は、入居者について解決すべき課題を把握し、入居者の意向を踏まえた上で、介護福祉施設サービスの目標及びその達成時期、サービス内容、サービスを提供する上での留意点等を盛り込んだ施設サービス計画を作成しました。

又、必要に応じて施設サービス計画を変更すると共に、内容を入居者及び家族に説明しました。

次にサービスの内容は、施設サービス計画に沿って、入居者に対し居室、食事、介護サービス、その他介護保険法令の定める必要な援助を提供し、入居者及びその家族に説明しました。

なお、サービスの提供にあたり、入居者又は他の入居者等の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束は行いませんでした。

緊急やむを得ず行なう場合においてもマニュアルに基づき、ご家族様との連携を取りながら入居者の尊厳を守ることに注意を払いました。

(6) 教養娯楽について

ユニット毎に季節感のある多くの行事を取り入れて、毎日の生活に変化と彩りを与えました。誕生者には、ユニットの担当者が入居者の希望を聞きお祝いをしました。

(7) 食事について

食事は、感染症対策として入居者1人1人の食べる間隔をできるだけ空けたり、対面にならないよう配慮・工夫を致しました。

朝食	8:00～9:00
昼食	12:00～13:00
おやつ	15:00～
夕食	17:30～18:30

月1回行事食の日を設け、季節を感じられる献立など日常生活に変化をつけました。

(8) 入浴について

介護職員がマンツーマンで入浴介助しますが、「抱え上げない介護」をテーマに、入居者の個々の身体状況に応じて、個浴型の機械浴槽、チェアインバス、臥床式特殊入浴装置を利用しました。

(9) 排泄について

プライバシーの保護に配慮しながらユニット毎に随時おむつ交換やトイレへの排泄誘導介助をしました。

又、腰痛予防対策として、スライディングシートや電動リフトなどの福祉機器を積極的に導入し、有効活用しました。

(10) 機能訓練について

老化の防止や残存機能の維持発展をはかるため、看護職員1名が機能訓練指導員と兼務で機能訓練を実施しました。

ユニット毎にラジオ体操や手足の上げ下げなど、軽い体操を毎日実施しました。

多くの入居者が積極的に参加し、表情も明るく前向きな姿勢が感じられました。



(運動会・体操の様子)

3 給食管理について

(1) 食事について

給食の提供にあたっては、年齢、性別、生活活動強度により栄養所要量を算定し、その栄養所要量が確保されるようにしました。

毎月行われる給食会議の行う方法も、感染予防対策として各部署の代表者がまとめた議案を栄養士が集計し、委託業者（株式会社西原屋）スタッフに確認してもらい、入居者の嗜好や摂取状況などを把握し、より良い給食が提供出来るようにしました。

又、温冷配膳車(24人用×3台)は電動アシスト機能付きで、女性スタッフでも軽々と操作可能になり各ユニットまでスムーズに適時適温給食を提供することが出来ました。

又、行事食を多く取り入れ、季節感のある献立を作成すると同時に、身体状況(咀嚼嚥下能力、健康状態など)に応じて、普通食、キザミ食、超キザミ食、ミキサー食などの調理形態を用意し、状況変化に応じて適宜変更しました。

食事以外にも水分補給の重要性から、ユニット毎にお茶の時間を設け、介護職員は全入居者の食事、水分の摂取状況を全て記録するようにしました。

食中毒の予防として、ノロウイルスや腸管出血性大腸菌 0-157 対策、衛生管理チェックリストの整備など、委託業者にも指導して毎日の点検や検便を実施しました。

(2) 栄養所要量について(令和4年3月31日現在)

	熱量 Kcal	蛋白質 g	脂質 g	Ca mg	鉄 mg	ビタミンD μg	VitB1 mg	VitB2 mg	VitC mg
平均	1,400	58.3	42.2	750	7.5	850	0.90	1.00	100

※ハリスベネディクトにて算出。

(3) 令和3年度 栄養摂取量(1人1日当たり)

	熱量 Kcal	蛋白質 g	脂質 g	Ca mg	鉄 mg	ビタミンD μg	VitB1 mg	VitB2 mg	VitC Mg
平均	1,417	60.4	46.3	850	10.7	817	0.74	0.86	85

(4) 調理形態別の食事の状況(令和4年3月31日現在)

主食	ご飯 18名	お粥 28名	粥ゼリー 4名	流動食0名	胃ろう栄養0名
副食	普通 6名	キザミ 14名	超キザミ 25名	ミキサー 5名	流動食0名



(お手玉競技)



(行事食)



(納涼祭・花笠音頭)

4 健康管理について

(1) 保健計画について

入居者の健康管理については、疾病の早期発見、早期治療のために定期健康診断や日常の健康チェックに努めました。そして、入居者の身体状況や症状に応じて、嘱託医の診察や協力病院等へ通院しました。

嘱託医と連絡調整は密に行い、入居者の症状に応じて治療の指示を得て、適切な措置を行いました。特にインフルエンザの流行時期は、嘱託医の指示により施設で検査を行い、陽性の場合には投薬、点滴治療を早目に対応しました。

又、入院治療を必要とする入居者については、嘱託医、協力病院、ご家族等と連絡を取り合いながら、入院治療を行いました。

歯科の診療については、入居者の症状に応じて歯科医院に往診を依頼し、口腔内の管理、治療、義歯の作成など行いました。

眼科、耳鼻科、整形外科、皮膚科などの診療については、家族と連絡を取り合い、時には通院の協力依頼をすることもありました。

インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症対策に対しての研修を行い、マニュアルに沿って周知徹底しました。

(2) 入居者の健康診断について

市原健康クリニックにより、各居室での胸部レントゲン検査、心電図検査、血圧測定、尿検査、診察など、集団検診で実施し、疾病の早期発見に努めました。

(3) 職員の健康診断について

全職員の健康診断を市原健康クリニックの移動検診車による集団検診で実施しました。

一般の職員は年1回、一般健康診断を実施しました。

直接処遇職員については年2回腰痛検査を実施すると共に、希望者は社会保険指定病院の生活習慣病予防検診を受診しました。

(4) 入居者の医療機関への入退院の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入院者	4	6	0	1	2	1	2	1	4	3	2	1	27名
退院者	0	1	1	0	0	0	1	1	4	1	0	1	10名

(5) 月別ベッド入居率(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
在籍	1,500	1,550	1,500	1,550	1,550	1,500	
入院、外泊	72	146	142	74	76	118	
在園	1,428	1,404	1,358	1,476	1,474	1,362	
利用率	95.2	90.6	90.5	95.2	95.1	92.1	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	1,550	1,500	1,550	1,550	1,400	1,550	18,250人日
	139	68	89	38	49	40	1,051人日
	1,411	1,432	1,461	1,512	1,351	1,510	17,179人日
	91	95.5	94.3	97.5	96.5	97.4	94.2%

5 年間行事

	<p>春の演遊会 あやめ見学 昭和村盆踊り 敬老会・家族会 運動会 昭和村文化祭</p> <p>予定していた行事は新型コロナウイルス感染症によりすべて中止となった。</p>	 <p>(納涼祭の様子)</p>
4/12	職員のPCR検査について千葉県との取り組みで週1回無料の検査を実施	
5/13	入居者健康診断	
6/4	コロナワクチン1回目接種 入居者46名	
6/26	コロナワクチン2回目接種 入居者45名	
8/2	<p>新型コロナウイルスオミクロン株感染者増加 緊急事態宣言発令。(9/30まで)</p>	 <p>(健康診断の様子)</p>
12/15	<p>クリスマス会(行事食) (別日に各ユニットごとに入居者へプレゼントを渡しています。)</p>	
1/16	市原市の新型コロナウイルス“オミクロン株”の新規感染者が増加した為、窓越し面会を自粛。	
1/21	まん延防止重点期間2/13までの間、施設内感染防止対策の徹底・強化。	
2/5	コロナワクチン3回目接種 1班 入居者22名	
2/19	コロナワクチン3回目接種 2班 入居者20名	
3/12	<p>コロナワクチン3回目接種 3班 入居者11名 (ワクチン副反応対策として分散接種)</p>	 <p>(ワクチン接種時の様子)</p>

6 職員研修実績

(1) 内部研修

なし。

(2) 外部研修

日付	研修名	内容	参加者 職種人数
R3. 7月5日	安全運転管理者講習	法定講習	安全運転管 理者1名
R3. 7月28日	施設長及び事務担当者研修会	ZOOMによるオンライン研修 コロナ感染症対策、R3介護報酬改定	施設長1名
R3. 10月5日	雇用管理責任者講習	介護労働における義務と職場秩序の保持 介護労働者の賃金管理	施設長1名
R3. 10月29日	施設長及び事務担当者研修会	ZOOMによるオンライン研修 LIFEの活 用に向けて～目的と重要性等について	生活相談員 1名

R3. 12月9日	雇用管理責任者講習	職業能力開発とキャリア形成支援 人材の確保・定着のための業務効率化とコミュニケーション	施設長 1名
R4. 1月17日	居宅・施設介護支援専門員現任研修	ZOOMによるオンライン研修 居宅介護支援の虐待防止のための措置への対応について	介護支援専門員 1名
R4 2月14日	認知症の人の思いを知る	ZOOMによるオンライン研修 ・認知症の人の行動 ・認知症で困っている事とその対応方法 ・なぜ認知症ケアで困難なことがあるのか	介護職員 3名
R4. 2月28日	施設長及び事務担当者研修会	介護職員処遇改善支援金の概要及び申請書類作成について (ZOOMによるオンライン)	施設長 1名 事務長 1名
R4. 3月2日	介護職の為のLIFEの理解	LIFEとは～介護現場でLIFEはどう生かされている？ 介護職員が知っておきたいLIFE評価システムと活用	生活相談員 1名 介護支援専門員 1名

7 器具及び備品・固定資産の購入内容(10万円以上の購入物品)

器具及び備品名	おろし機
年月日	令和3年10月29日
業者名	メラマック
内容	厨房機器 おろし機 オロシーデラックス
金額(税込)	110,000円
器具及び備品名	パラマウントベッド
年月日	令和4年3月31日
業者名	有限会社ユアーズメディカル
内容	入居者用ベッド5台
金額(税込)	1,685,750円
器具及び備品名	車椅子
年月日	令和4年3月31日
業者名	有限会社ユアーズメディカル
内容	車椅子ラクーネ
金額(税込)	275,000円

8 設備等の修繕・工事の内容(10万円以上の工事)

修繕・工事名	洗濯・乾燥・汚物除去機点検修理
年月日	令和3年7月27日
業者名	(株)フツラ
内容	洗濯・乾燥・汚物除去機の点検や修理
金額(税込)	301,070円

併設型・空床型ユニット型指定短期入所生活介護

1 事業の実施状況について

「全室個室・ユニットケア」のユニット型指定短期入所生活介護(定員 10 名)の施設で、ユニット毎に家庭的な雰囲気の中で、本人の意思及び人格を尊重し、自立した日常生活が営まれるように介護しました。

入院ベッドを利用する空床型短期入所も実施していましたが、

今年度は、新型コロナウイルスの流行により、国の緊急事態宣言の影響で外部からの利用者様の利用回数の自粛を余儀なくされたため、年間平均利用率は 98.6%となりました。

短期入所生活介護利用者の健康管理については、事前情報の提供を受けるなど、担当介護支援専門員や家族等との連絡を密にし、状況、状態に応じた処置や通院介助をしました。

今年度も、特養本体施設と同様に介護職員の腰痛予防対策として「抱え上げない介護」をテーマに掲げ、介護用電動リフトやスライディングシートなどの介護機器、介護用品を使用しました。

2 職員配置の状況

介護・看護職員は 2 対 1 の介護体制で、質の高いサービスに努めました。

施設長	事務員	生活相談員	介護支援専門員	看護職員	介護職員	栄養士	嘱託医	調理員
1 (兼)	1 (兼)	1 (兼)	1 (兼)	1	4	1 (兼)	1 (兼)	委託

(令和 4 年 4 月 1 日現在)

3 短期入所生活介護の利用状況について

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
延べ利用日数	320	347	246	310	335	322	
利用率	106.7	111.9	82	100	108.1	107.3	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	323	270	322	296	251	260	3,602人日
	104.2	90	103.9	95.5	89.6	83.9	98.6%

4 器具及び備品・固定資産の購入内容 (10 万円以上の購入物品)

なし。

令和3年度

事業実績報告書



(令和3年9月20日 敬老会)

市原園デイサービスセンター

IV 市原園デイサービスセンター 事業実績報告書

1 事業の実施状況について

(1)はじめに

市原園デイサービスセンターは、令和3年度事業計画に基づいて運営管理に努めました。平成28年4月1日から地域密着型通所介護へと移行となった事から、年2回の運営推進会議の開催が必要となりましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策として、文書による開催とし、運営推進委員の皆様から貴重なご意見を頂きました。そして、サービス向上に努め地域の皆様から良い評価を得られるよう努力しました。

又、地元で開催のアートミックスのイベントや加茂公民館主催のクリスマスコンサートなどに参加できましたが、加茂学園の運動会、学園祭等の地域交流行事は、新型コロナウイルス感染症の関係から自粛となり地域との交流を深める事が出来ませんでした。

新型コロナウイルス感染予防対策について

- ① デイサービス専用の出入り口を夜間通用口に設け、施設入居者や他のサービス利用者との接触を避けるように工夫しました。
- ② 利用者の送迎自動車乗車前の体温測定を実施しました。
- ③ 体温測定を午前と午後一日2回実施し、健康チェックを強化しました。
- ④ 手洗い、手指アルコール消毒、食事時以外の常時マスクの着用など、徹底しました。
- ⑤ 食堂の対面配置を無くし密を避ける為、テーブル8台で対面式をなくしました。
- ⑥ 外食が出来なかったため、出前食の日やお楽しみ給食の日を実施しました。
- ⑦ 送迎終了時の車両のアルコール消毒など感染予防に努めながら実施しました。
- ⑧ 職員の就業前と午後の体温測定、健康チェック、行動表の記録などを実施しました。
- ⑨ 職員の勤務体制を2交代制とし、昼食時間も分けるように実施しました。
- ⑩ PCR検査実施（職員）10/2～毎週1回実施。

このように、今年度は出来る限りの新型コロナウイルス感染予防対策に努めて、通所介護サービスの実施を継続しました。

(2)職員配置の状況

管理者	生活相談員	看護職員	介護職員	機能訓練指導員	運転職員	合計
1	1	(2)	(4)	(2)兼務	(1)	2(7)名

()は非常勤 (令和4年3月31日現在)

(3)サービスの提供について

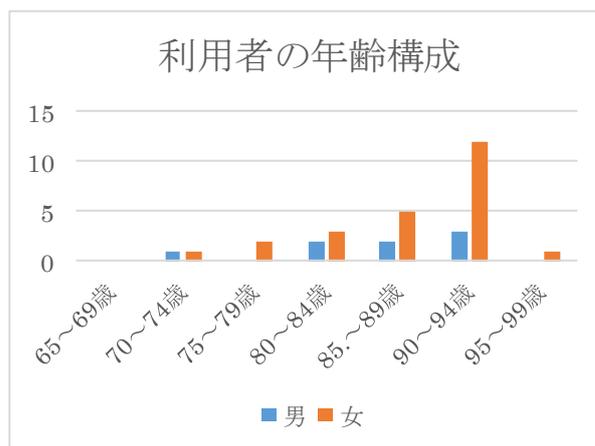
サービスの提供に当たっては、通所介護計画に基づき利用者の有する能力に応じて、自立した日常生活を営むことが出来るよう、必要な日常生活上のお世話及び機能訓練などを行いました。

利用者の状況は、70～95歳と年齢差も大きく、又90歳以上の年齢層が16名と最も多いので、無理なく安全にサービスの提供が出来るように、個別の通所介護計画や機能訓練の見直し等を行い、個別介護に努めました。

又、利用者の社会的孤立感の解消や心身の機能の維持、そして利用者の方々の身体的及び精神的負担の軽減を図りました。

【利用者の年齢構成】

	男性	女性	計	前年比
65～69 歳	0	0	0	0
70～74 歳	1	1	2	-2
75～79 歳	0	2	2	0
80～84 歳	2	3	5	+1
85～89 歳	2	5	7	+1
90～94 歳	3	12	15	-1
95～99 歳	0	1	1	-1
合計	8	24	32 名	-2 名
平均年齢	85.0	87.5	86.3	+0.9 歳



(令和4年3月31日現在)

(4)行事、レクリエーション等について

行事、レクリエーション等については、お花見、紅葉狩り、クリスマス会、ガーデニングやクッキング教室、そして、今年もコロナウイルス感染予防の為家族の参加は出来ませんでした。職員、利用者のみで敬老会を実施しました。

今年3回目の絵手紙教室は、皆さん思い思いに作品を書き上げ、家族の方などに送ることが出来ました。

毎月1回の誕生会の豪華な行事食や防災訓練は、例年通り実施出来ましたが、今年度もコロナウイルス感染予防の為、施設の入居者の方々との交流は一切できませんでした。

3月末には、今年度の反省会を一週間掛けて実施し、その方に合った賞状や一年間分の作品等のプレゼントお渡ししました。

・主な行事

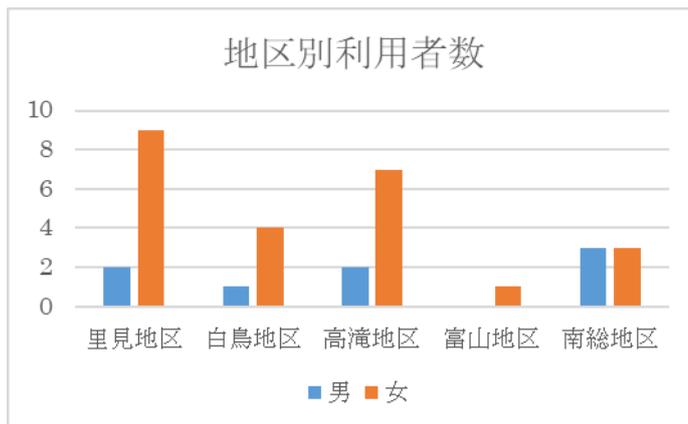
4月	「デイサービス便り」発行 お花見(高滝ダム、木更津、君津、溪谷方面) 菜の花ドライブ カフェドライブ(月崎)ピザ屋 選択レク	(カフェドライブ)	
5月	端午の節句 菖蒲湯 高滝ダム湖畔散歩(バラ園見学) 母の日思い出作り グランドゴルフ 選択レク	(バラ見学)	
6月	出前会食(2回) 介護負担感アンケート(家族用)調査 父の日思い出作り 選択レク 車椅子操作訓練	(出前会食)	

7月	七夕・音楽リズム遊び 絵手紙教室・オリンピック観戦 外食の代わりに出前会食（3回） 選択レク、給食アンケート実施 地域密着型運営推進会議（書類）	(絵手紙教室)	
8月	写経・オリンピック観戦 月崎駅へ風鈴見学 選択レク・クッキング教室 夏祭り大会（5種目）	(夏祭り)	
9月	敬老会（手話） 米寿祝い 防災訓練 「デイサービス便り」発行 選択レク	(防災訓練)	
10月	デイの運動会 秋の芸術作品作り 選択レク	(運動会)	
11月	加茂学園へ雑巾寄贈（200枚） 芸術祭作品作り （ちぎり絵・色塗り・卵の殻アート・雑巾縫い） 選択レク・里山アートミックス見学・出前会食 紅葉ドライブ（養老溪谷方面・亀山・柳川）（加茂学園雑巾寄贈）		
12月	紅葉ドライブ 加茂公民館（クリスマスコンサート）生バンド 防災訓練・出前会食 クリスマス会 ハンドベル演奏、ゆず湯 選択レク、茶話会	(クリスマスコンサート)	
1月	カルタ取り、羽根つき、トランプ 福笑い・グランドゴルフ 百人一首 選択レク	(お正月レク)	
2月	節分豆まき・マット運動 選択レク・グランドゴルフ お楽しみおやつ会（1週間） 地域密着型運営推進会議（書類）	(お楽しみおやつ会)	
3月	ひな祭りの会、音楽体操、選択レク ドライブ、 デイ防災訓練 苺パフェ お花見ドライブ（加茂地区・君津地区） お楽しみ茶話会（今年度反省会）		

2 利用の状況について

(1) 地区別利用者数(令和4年3月31日現在)

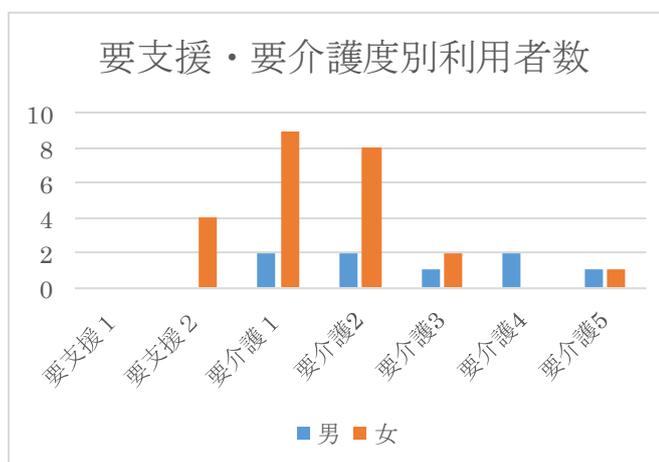
	男	女	計	前年比
里見地区	2	9	11	+1
白鳥地区	1	4	5	0
高滝地区	2	7	9	0
富山地区	0	1	1	-1
南総地区	3	3	6	-2
合計	8	24	32名	-2名



(2) 要支援・要介護度別利用者数(令和4年3月31日現在)

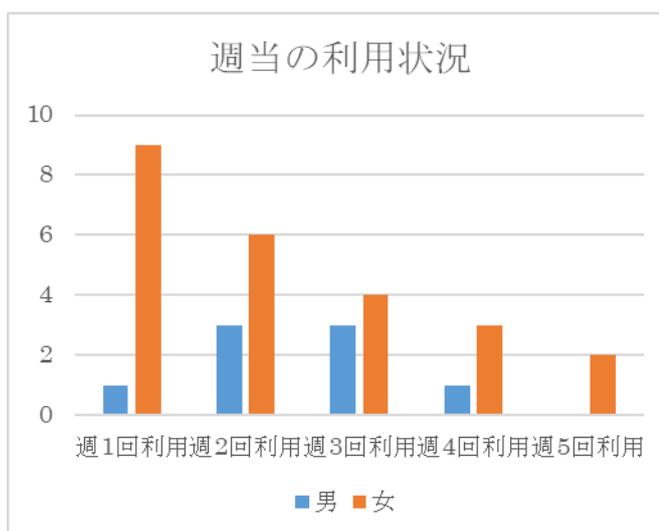
(平均要介護度 2)

	男	女	計	前年比
要支援1	0	0	0	0
要支援2	0	4	4	0
要介護1	2	9	11	-4
要介護2	2	8	10	+3
要介護3	1	2	3	0
要介護4	2	0	2	0
要介護5	1	1	2	-1
合計	8	24	32名	-2名



(3) 利用者の週当の利用状況(令和4年3月31日現在)

	男	女	合計
週1回利用	1	9	10
週2回利用	3	6	9
週3回利用	3	4	7
週4回利用	1	3	4
週5回利用	0	2	2
合計	8	24	32名



(4) 月別利用者数

年間定員 3,600 名の所 3,547 名の実績で、98.5%の年間利用率でした。

	営業 日数	1日平均 利用者数	1月の延べ 要支援者数	1月の延べ 要介護者数	1月の延べ 合計利用者数	利用率
4月	21	13.9	12	279	291	97.0%
5月	21	14.0	12	283	295	98.3%
6月	21	14.0	12	282	294	98.0%
7月	21	14.1	11	286	297	99.0%
8月	21	14.0	14	280	294	98.0%
9月	21	14.3	15	285	300	100%
10月	20	15.0	15	285	300	100%
11月	21	14.3	14	286	300	100%
12月	20	14.9	15	283	298	99.3%
1月	20	14.2	16	267	283	94.3%
2月	20	14.8	15	280	295	98.3%
3月	21	14.3	12	288	300	100%
年間合計		171.8	163	3384	3547	年間利用率
月の平均		14.3	13.6	282.0	295.6	98.5%

3 職員研修実績

(1) 外部研修

日付	研 修 内 容	講 師	参加者職種	参加人数
R3.10/29	LIFE の活用に向けて	リモート	介護職員	1名
R4.1/22	介護報酬改定 2021.4	リモート	介護職員	1名

(2) 外部研修

日付	研 修 名	内 容	参加者職種人数
R4.3/2	介護職の為の LIFE の理解	LIFE とは？	介護職員 1名

※新型コロナウイルス対策の為、研修がほとんど中止となった。

4 設備等の修繕・工事・購入の内容 (10万円以上の工事)

修繕・工事名	送迎車両 1台購入	椅子 20脚購入
年 月 日	令和3年8月6日	令和4年3月25日
業 者 名	ネッツトヨタ千葉(株)	深山文具店
内 容	トヨタ タンク	コクヨ 会議椅子
金額(税込)	1,737,024円	235,200円

令和3年度

事業実績報告書



市原園在宅介護支援センター

V 市原園在宅介護支援センター 事業実績報告書

指定訪問介護

1 はじめに

新型コロナウイルス感染症対策として

- ① 新規利用者の受け入れを緊急事態宣言中は自粛。
- ② ヘルパー活動に入る前と終了後の手指消毒や公用車や自家用車内の消毒の徹底
- ③ 市原園個浴利用の自粛

市原園在宅介護支援センターの訪問介護事業は、11名の訪問介護員が、24時間、365日、利用者から要望があればいつでも活動出来るように体制を整備し対応しました。

活動内容は、居宅を訪問して入浴・排泄等の介護及び援助、家事・炊事、買い物等の日常生活支援でした。

平成30年4月からは介護予防訪問介護サービスがなくなり、市原市と大多喜町での日常生活支援総合事業の申請登録を行い、サービスを提供しています。

令和3年度の活動回数の実績は、月平均713回で、令和2年度と比較すると月平均80回程減少しました。

2 職員の状況

管理者	サービス提供責任者 兼 訪問介護員	非定型的パートタイム ヘルパー	合 計
1 兼務	1(1)	(9)	1(10)名

()は非常勤 (令和4年4月1日現在)

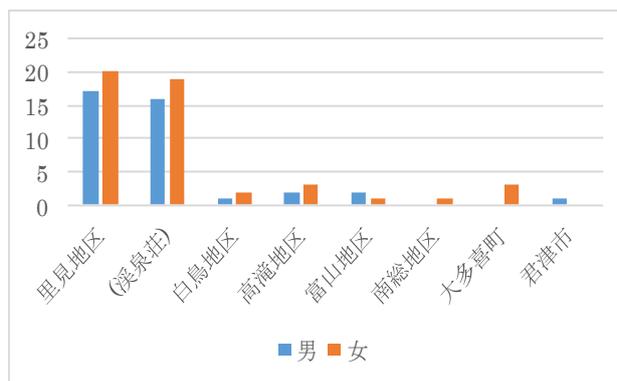
3 訪問活動延数

月	身1	身2	身3	身1生1	身1生2	生2	生3	訪問型 1	訪問型 2	訪問型 3	計 (回)
4	181	171	17	65	17	82	227	21	18	0	799
5	100	175	18	55	23	82	247	18	17	0	735
6	103	165	17	60	20	77	233	20	17	0	712
7	85	162	18	48	23	94	231	21	27	12	721
8	79	143	18	51	24	91	216	18	27	14	681
9	78	146	17	46	25	88	220	13	26	13	672
10	110	147	16	44	20	91	234	14	23	27	726
11	101	144	16	51	17	91	229	10	31	25	715
12	112	157	12	52	18	96	238	9	22	17	733
1	102	163	9	41	20	96	228	8	16	14	697
2	98	152	4	47	13	84	220	4	14	12	648
3	98	173	4	55	19	90	243	4	15	13	714
計	1,247	1,898	166	613	239	1,062	2,766	160	253	147	8,551

(前年比-959回)

4 地区別利用者の状況(令和4年3月現在)

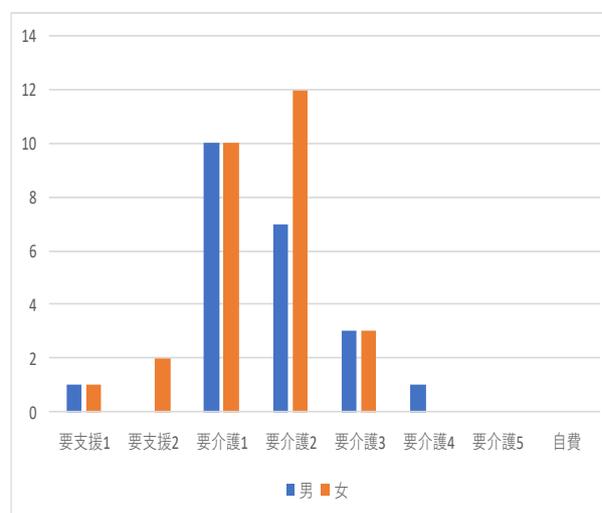
	男	女	計	前年比
里見地区	17	20	37	-2
(溪泉荘)	(16)	(19)	(35)	-2
白鳥地区	1	2	3	-3
高滝地区	2	3	5	1
富山地区	2	1	3	1
南総地区	0	1	1	0
大多喜町	0	3	3	0
君津市	1	0	1	0
合計	23	30	53名	-3



5 要支援・要介護度別利用者の状況

(令和4年3月現在)

	男	女	計	前年比
要支援1	1	1	2	-2
要支援2	0	2	2	-3
要介護1	10	10	20	-3
要介護2	7	12	19	2
要介護3	3	3	6	3
要介護4	1	0	1	1
要介護5	0	0	0	-4
自費	0	0	0	0
合計	22	28	50名	-6



6 職員研修実績

(1) 内部研修

なし。

(2) 外部研修

新型コロナウイルス感染者増加の為、訪問介護対象の研修がほとんど開催されなかった。

7 器具及び備品・固定資産の購入内容(10万円以上の購入物品)

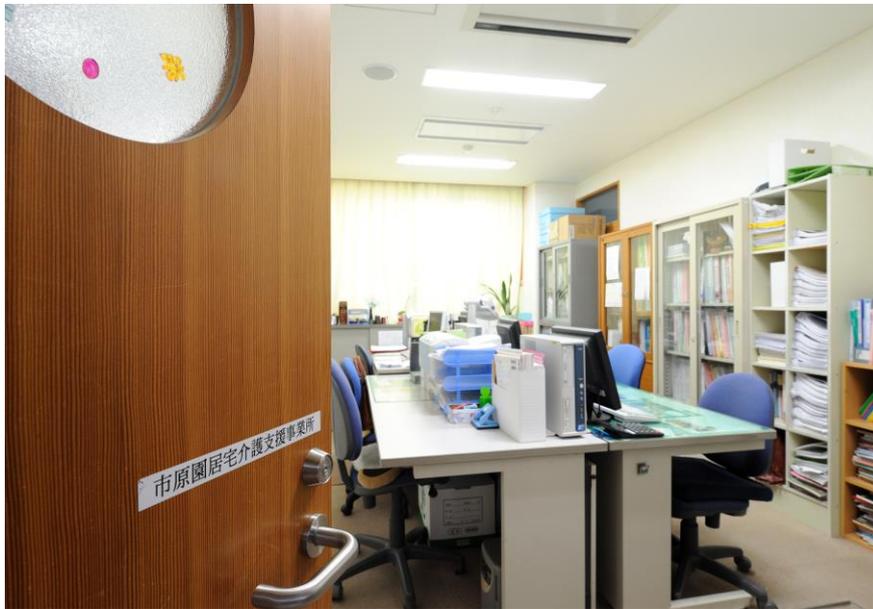
該当備品・購入なし

設備等の修繕・工事の内容(10万円以上の工事)

該当修繕・工事なし

令和 3 年度

事業実績報告書



市原園居宅介護支援事業所

VI 市原園居宅介護支援事業所 事業実績報告書

指定居宅介護支援

1 はじめに

介護支援専門員が、要介護者等に対し介護（予防）サービス計画の作成を行いました。在宅介護を希望される本人や、家族の心身状況や置かれている環境に応じて、多様な事業者から選択により総合的かつ効果的に提供されるように配慮し主治医と連携を取り、きめ細かくサービスが提供できるようサービス計画を作成しました。

また、事業運営にあたっては、市町村、地域包括支援センター、病院、他の指定居宅介護支援事業者と密に連携をとり、情報交換を行いながら推し進めることができました。

- ・ 多様に変化する介護保険制度を円滑に実施するため常に、職員の資質向上に努め研修会、検討会等にも積極的に参加しました。
- ・ 特定事業所加算に係る基準を遵守し、特定事業所加算Ⅱの算定を受け利用者一人当たり4,000円の加算を受けることができました。
- ・ 市原市や他市町村から委託を受け、介護認定調査を実施しました。令和3年度は151件の実績でした。

新型コロナウイルス感染予防対策としては

- ① 常時マスクを着用・訪問時は消毒液を持参し、通常のモニタリングであれば玄関先で距離を取り会話するようにして、事業所に戻った際は必ず手洗い・消毒を徹底しました。
- ② サービス担当者会議の開催は問題がなければ電話や文書でやり取りをしました。
- ③ 他法人との共同事例検討会では年2回、文書でやり取りをしました。

2 職員の状況

管理者 兼 主任介護支援専門員	主任介護支援専門員	介護支援専門員	合計
1名	2名	1名	4名

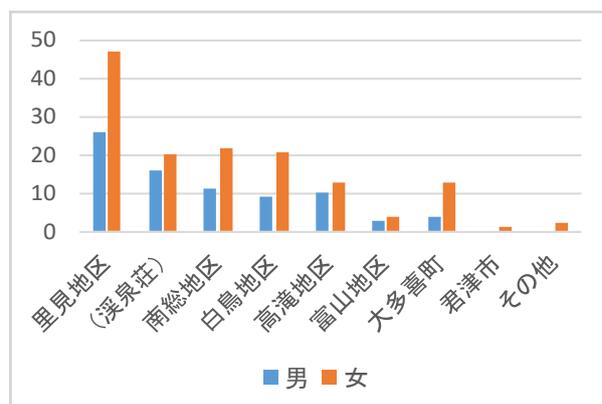
(令和4年3月31日現在)

3 ケアプラン作成件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	133	144	137	143	128	137	141	134	130	125	126	141	1,619件
支援	40	42	40	43	43	46	48	53	48	51	53	54	561件

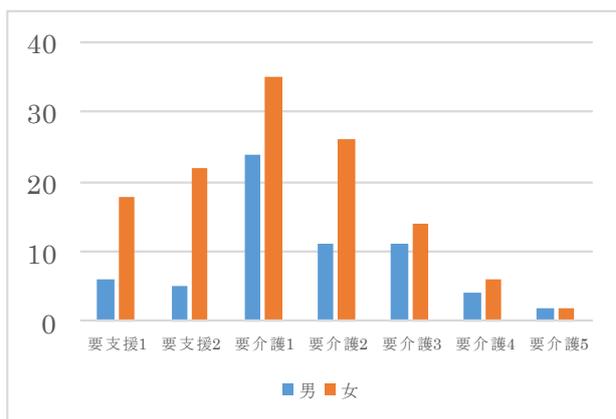
4 地区別利用者の状況(令和4年3月現在)

	男	女	計	前年比
里見地区 (溪泉荘)	26 (16)	47 (20)	73 (36)	-3 (-8)
南総地区	11	22	33	1
白鳥地区	9	21	30	-3
高滝地区	10	13	23	5
富山地区	3	4	7	2
大多喜町	4	13	17	0
君津市	0	1	1	1
その他	0	2	2	-1



5 要支援・要介護度別利用者の状況(令和4年3月現在)

	男	女	計	前年比
要支援1	6	18	24	-1
要支援2	5	22	27	6
要介護1	24	35	59	-6
要介護2	11	26	37	-2
要介護3	11	14	25	7
要介護4	4	6	10	0
要介護5	2	2	4	-2
合計	63	123	186名	2名



6 各事業所にサービス提供を依頼した件数(介護・支援含む、重複あり)(令和4年3月分)

サービス提供の内容	件数	サービス提供の内容	件数
ヘルパーの利用	57	福祉用具(ベッド)の貸与	36
短期入所生活介護の利用	16	〃 付属品	36
デイサービスの利用	83	福祉用具(床ずれ防止マット)の貸与	4
デイケアの利用	28	福祉用具(車イス)の貸与	11
訪問看護の利用	13	福祉用具(歩行器)の貸与	42
訪問入浴の利用	0	福祉用具(手すり)の貸与	44

7 職員研修実績

(1) 内部研修

本年度の内部研修の実績はありません。

(2) 外部研修

日付	研修名	内容	参加人数
令和3年 4/16(金)	認定調査員研修(千葉県主催)	認定調査を実施する上での留意事項 や概況調査票の記入の仕方等	1名
令和3年 6/20(日)	令和3年度総会記念研修会 (社会福祉協議会主催)	ケアプランに必要な薬の知識 (ズーム)	1名
令和3年 8/4(水)～ 8/10(火)	第4回高次脳機能障害生活版ジョ ブユーチ支援研修会(千葉リハビ リテーションセンター主催)	高次脳機能障害の特性と対応 (ユーチューブ)	3名
令和3年 9/11(土)	第97回千葉県介護支援専門員協議 会研修会(千葉県介護支援専門員 協議会・災害対策委員会)	1. BCP とは 2. BCP の作成方法 3. まずは何から始める (ズーム)	1名
令和3年 8/30(月) ・9/15(水)	ZOOM活用研修会 (千葉県介護専門員協議会 サポート委員会主催)	参加初級編 参加実践編 (ズーム)	1名
令和3年 10/26(火)	令和3年度 介護支援専門員研修 会(市原市地域包括支援センター)	市原市各課における相談業務内容に ついて 複合課題を抱える世帯の事	1名

	主催)	例検討 (ズーム)	
令和3年 11/10 (水)	令和3年度 第1回研修会 (市原市ケアマネジャー連絡会主催)	市原市の高齢者虐待を学ぶ (ズーム)	2名
令和3年 11/16 (火)	認知症研修会 (千葉労災病院認知 症疾患医療センター主催)	認知症の入院治療	1名
令和3年 12/18 (土)	第98回 千葉県介護支援専門員協 議会研修会 (千葉県介護支援専門 員協議会主催)	死を前にした人と向き合う心を育て る (ズーム)	1名
令和4年 1/17 (月)	居宅・施設介護支援専門員現任研 修 (千葉県高齢者福祉施設協会・ デイサービス協会・地域包括・居 宅介護支援センター協会主催)	居宅介護支援の虐待防止のための措 置への対応について	1名
令和4年 2/25 (金)	令和3年度 ケアマネ交流会 (地域包括支援センター・トータ ス主催)	他居宅介護支援事業所の交流を図る (情報交換)	1名
令和4年 3/7 (月)	令和3年度 第2回研修会 (市原市ケアマネジャー連絡会)	今さら聞けないケアマネ業務	1名

8 設備等の修繕・工事の内容 (10万円以上の工事)

購入品名	多機能電話 (3台)
年 月 日	令和4年3月31日
業 者 名	日立システムズフィールドサービス
内 容	電話増設工事、FAX回線移設
金 額(税込)	359,700円

令和 3 年度

事業実績報告書



昭和村売電事業

Ⅶ 昭和村売電事業 事業実績報告書

1 はじめに

社会福祉法人昭和村は、平成 29 年度から空調設備や給湯設備の更新、照明器具の LED 化など、施設の省エネルギー対策に取り組んで来ました。

そして、平成 30 年度は施設の屋根を有効活用し、収益事業として太陽光発電による売電事業を立ち上げ、安定した社会福祉事業の経営を目指しました。

2 事業内容

設計・監理業者 株式会社ウエストエネルギーソリューション
東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティビル 31 階
設置場所 軽費老人ホーム溪泉荘 A・B 棟屋根
売電開始日 平成 30 年 10 月 5 日

3 売電実績

年 月	発 電 量 (エコめがね)	売電金額 (収入額)	予測量との 対比
令和 3 年 4 月	9,293.5 kWh	223,042 円	+ 31.1%
令和 3 年 5 月	8,447.7 kWh	202,745 円	+ 18.0%
令和 3 年 6 月	8,138.2 kWh	195,316 円	+ 51.1%
令和 3 年 7 月	7,904.2 kWh	189,699 円	+ 15.2%
令和 3 年 8 月	7,739.2 kWh	185,740 円	+ 8.5%
令和 3 年 9 月	5,435.8 kWh	130,458 円	- 3%
令和 3 年 10 月	5,367.8 kWh	121,054 円	+ 11.9%
令和 3 年 11 月	5,043.9 kWh	121,054 円	+ 26.8%
令和 3 年 12 月	4,901.3 kWh	117,631 円	+ 23.9%
令和 4 年 1 月	4,851.8 kWh	116,443 円	+ 16.7%
令和 4 年 2 月	5,715.9 kWh	137,181 円	+ 16.6%
令和 4 年 3 月	7,185.5 kWh	172,450 円	+ 17.3%
合 計	80,024.8 kWh	1,920,586 円	平均 19.5%

4 借入金の返済状況

借 入 先	京葉銀行 五井支店
借 入 額	14,500,000 円
借 入 年 度	平成 30 年度
完 済 年 度	令和 15 年度
令和 3 年度 償還額元金	960,000 円
利子	116,621 円
令和 3 年度末 償還残額	11,220,000 円

5 設備等の修繕・工事の内容 (10 万円以上の工事)

なし